

令和3年5月1日発行 No.69

 **市議会だより**


おが



●ホッキョクグマ ユキ親子

提供：男鹿水族館GAO

おが市議会だよりを
無料アプリ「マチイロ」
で配信しています。



目次

◆3月定例会審議日程◆

2月22日	本会議（議案上程）
25日	本会議（一般質問）
26日	本会議（一般質問）
3月1日	本会議（議案質疑）
	予算特別委員会
2日	予算特別委員会
4日	常任委員会・分科会
5日	常任委員会・分科会
8日	常任委員会・分科会
15日	予算特別委員会
	議会運営委員会
	本会議（表決）

2月臨時会・3月定例会から	P 2
議案質疑	P 3
一般質問	P 4～P 7
陳情・意見書等	P 7
予算特別委員会	P 8
常任委員会	P 9
討論・表決状況・編集後記等	P 10

2月臨時議会
3月定例会

議員提案により定数2名減！
18人から16人に
来春4月の市議会選挙から適用

2月臨時会は2月1日に招集され、除排雪に係る予算措置についての専決処分や新型コロナウイルスワクチン接種事業費などを盛り込んだ一般会計補正予算案などを可決・承認しました。
3月定例会は2月22日に招集され、3月15日までの22日間の会期が開かれました。今定例会では男鹿駅周辺広場の指定管理案や令和3年度一般会計予算案など24議案が市長から提案され、審議の結果すべて可決しました。
また、最終日には議員定数条例の一部改正案など議案案2件を可決し閉会しました。

※男鹿市議会会議録は、男鹿市ホームページ「市議会」ページからご覧いただけます。

●新型コロナウイルスワクチンの接種体制の整備について

2月臨時会で補正予算成立後、3月4日付けで健康子育て課内に「新型コロナウイルスワクチン接種推進室」を設置しました。接種券発送のほか、相談や接種予約の受付、関係機関との調整、人員や接種会場の確保、接種体制など、市民へ迅速かつ円滑にワクチン接種が行われるよう男鹿潟上南秋医師会などの関係機関と協議のうえ準備を進めています。

現在、国の指示に基づき、65歳以上の高齢者へのクーポン券発送は3月下旬を予定し、接種場所や接種開始時期なども具体的に検討しています。

●新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金について

国の第3次補正予算が先月28日に成立し、総額1・5兆円の経済対策を行うことが決定されました。本市への臨時交付金の交付限度額は2億3千578万1千円です。

交付金活用事業は緊急宿泊支援事業費、新型コロナウイルスワクチン接種事業費、プレミアムバスポート事業補助金など、早期の実施を要するものについて補正予算を追加提案しました。

●第58回なまげ柴灯まつりについて

2月12日から14日までの3

日間の日程で開催しました。今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、入場する人数を制限し、事前予約制で観客を募集しての開催となり、真山神社会場に1千400人の来場がありました。また、オガレをサテライト会場としてイルミネーションやイベント、花火などが実施され、3日間で2千800人の来場がありました。会場は花火の上がった夜9時まで賑わい、オガレへも多くの人が訪れていました。

●オガレの状況について

今年度の4月から1月までのレジ通過者数の累計は約17万6千人、総売上げは約2億9千700万円となっており、前年同期の累計と比較すると、レジ通過者数で約1万3千人の減、総売上げで約630万円の減となっています。

●議会議員定数条例の一部改正について

議員提出議案として、市の人口減少などから議員定数を18名から16名に変更することについての条例の一部改正が提案され、活発な質疑・討論が行われました。(P10に討論内容掲載)

可決した主要議案

2月臨時議会

●補正予算

●一般会計予算(第13号)

《主な内容》新型コロナウイルスワクチン接種事業費、男鹿駅周辺整備事業費などを措置したもので、歳入歳出それぞれ1億2千690万円を追加するものです。他3件

●その他

●権利の放棄について

《主な内容》公金着服事件に係る損害賠償金のうち債務未承認分の債権について、債務名義を取得するための立証が難しく債権回収が困難であることから、権利を放棄するものです。他3件

3月定例会

●(条例)

●一般職の職員給与に関する条例の一部改正

《主な内容》一般職の職員の勤勉手当の額に、人事評価の結果を反映するものです。他4件

●(令和3年度補正予算)

●一般会計予算(第14号)

《主な内容》決算見込みによる調整を図るとともに、生活バス路線

維持費等補助金などを措置したもので、歳入歳出それぞれ2千230万円を追加するものです。他5件

●(令和3年度当初予算)

●一般会計予算

《主な内容》市長改選期にあたることから資格予算とすることを基本方針とし、継続事業や市民生活に直結する事業を中心に措置したもので、予算総額を157億円とするものです。他10件

●(令和3年度補正予算)

●一般会計予算(第1号)

《主な内容》緊急宿泊支援事業費、新型コロナウイルスワクチン接種事業費、プレミアムバスポート事業補助金などを措置したもので、歳入歳出それぞれ1億2千830万円を追加するものです。

●その他

●男鹿駅周辺広場の指定管理者の指定について

《主な内容》指定管理者に「男鹿駅周辺広場賑いづくり共同体」を指定するものです。

●議員提出議案

●議会議員定数条例の一部改正

●意見書1件

講案質疑

2月臨時議会

●権利の放棄について

●質疑 公金着服問題の発生要因の検証は、

●答 債務未承認部分を地方自治法に基づき債権放棄し、不能欠損するものだが、着服の立証が困難であり、まもなく時効を迎える段階で苦渋の決断をするものである。本人の倫理観や正義感の欠如が一番の大きな要因ではあるが、未然に防ぐべきことは組織のチェック体制にも落ち度があったものと検証している。

●質疑 税務徴収業務における改善策、再発防止等は、

●答 領収印の管理や相互チェック体制、人事部分での対応等で再発防止を要する。市民には心からお詫び申し上げるとともに、職員一同努力していく。

●質疑 放棄する債権の補填は、

●答 当時の上司やOB職員からは寄附を募っていたが、事件は個人の犯罪であり、組織的なものではないことから市職員としてその補填はしない。

●一般会計補正予算関連

●新型コロナウイルスワクチン接種について

●質疑 新型コロナウイルスワクチン接種の取組やスケジュールは、

●答 まだ国から具体的な手立てが示されていないが、供給が可能となった場合には速やかに市民に対し接種を行う必要がある。本臨時会提案の補正予算成立後、健康子育て課内に「新型コロナウイルスワクチン接種推進室」を設置し、接種券発送のほか相談や接種予約の受付、関係機関との調整、人員や接種会場の確保など迅速かつ円滑な接種が行われるよう取り組んでいく。

●1月の低気圧に係る農業被害の状況について

●質疑 1月の低気圧による被害状況の調査方法と支援対策は、

●答 暴風がおさまってから

管内を巡回により調査し、J Aや県の報告と被害状況を共有している。農業施設と家屋被害との判別を整理し支援対応していく。

●男鹿駅周辺広場について

●質疑 チャレンジ広場用品の内容は、

●答 特殊加工した出店用テナント5張、木組みの屋台20台分である。

●質疑 男鹿駅周辺整備事業の市民への周知は、

●答 市役所入口とオガレに完成予想図を掲示しているが、まだ不十分と考えられるため、市民のわくわく感の創出に向け、更なる周知を図っていく。

3月定例会

●男鹿市一般職の職員給与に関する条例の一部改正について

●質疑 従来の勤務成績の根拠とは、

●答 法改正部分は職員のスキルアップ、能力向上、その業績という評価になる。自分で目標を立てて、その達成度を評価するという制度内容になっっている。

●男鹿市介護保険条例の一部改正について

●質疑 施設入所待機者の解消策は、

●答 要介護度の重症化防止に努めるのが一つであり、1段階でも介護度を上げないような対策に取り組んでいく。

●男鹿市空家等対策協議会条例の一部改正について

●質疑 本市における空家の現状と対応策は、

●答 現状、所有者が不明な空家が増加しており、年1回シルバー人材センターと協力し調査している。被災等が考えられる空家は特定空家指定をし、今後の対応を検討している。

●男鹿市介護保険条例の一部改正について

●質疑 施設入所待機者の解消策は、

●答 要介護度の重症化防止に努めるのが一つであり、1段階でも介護度を上げないような対策に取り組んでいく。



佐藤已次郎 議員

「国連総会で130か国核兵器禁止条約への参加を訴える決議を採択

【国連総会で130か国核兵器禁止条約への参加を訴える決議を採択】 昨年12月の国連総会で核兵器禁止条約に130か国が賛同し、国連加盟国の3分の2を超え成立したことは画期的成果である。人類の歴史で初めて核兵器は違法とする国際法が誕生したことは大きな意義あるものだ。しかし、菅政権は核抑止力の維持、強化を持ち出し、条約参加を拒否している。

唯一の戦争被爆国である日本が条約に参加すれば、核兵器のない世界実現に前進の変化をつくることとが出来ると思うのが市の見解を伺う。

【関係各国が外交努力を積み重ね、核兵器のない世界を実現することは、人類共通の課題であると認識している。政府は条約に批准していないが、核兵器のない世界の実現に向けて外交努力を続けていただきたいと考える。】

商工業者、飲食業者へ支援を

【コロナウイルス感染症による商工業・飲食業者の営業が苦境に立たされている。街は閑散として、経営者からは1日、店をやっつけていけない、何とかしてほしい等の切実な声が寄せられている。経営を維持する支援制度や助成制度の必要性について、市としてどう対応していく考えなのか見解を伺う。】

【全国的な感染拡大により、多くの事業者に対して影響を及ぼしており、特に宿泊業、飲食サービス業と関連する業種への影響は大きく、深刻な状況下にあると認識している。経営安定資金制度による資金不足への備えを進める事業者が多くなっている状況である。特に飲食事業者においては、1月の売上高が前年同月と比べ大きく減少し、中には8割も減収した事業者も確認している。年末年始からの感染拡大により、忘年会、新年会のキャンセル等が発生し厳しい状況に陥っている。】

【市では二度にわたるプレミアム商品券の発行で事業効果があったと捉えている。今後、飲食店への需要喚起につながる商品券事業の検討をする。また、県では商店街振興組合や飲食店組合等が独自の商品券の発行への支援制度を4月1日から運用するとしている。】



米谷 勝 議員

八郎湖のアオコ対策について

【八郎湖水質改善に係るこれまでの進捗状況は、】

【八郎湖の水質汚濁の原因は、八郎湖に流入する汚濁負荷量と密接に関連しており、下水道施設への接続や合併浄化槽の設置の促進、県や流域市町村と連携して、西部承水路の流動化促進、無代かき、無落水移植栽培の水質保全型対策に取り組んでいる。】

男鹿駅周辺芝生わんぱく広場大型複合遊具設置工事について

【公募型プロポーザル方式に至らなかった理由は、】

【整備される遊具は、子供と親の双方の視点に立ち、市内外の多くの方に利用される魅力的なものである必要がある。価格競争のみによるものではなく、事業者の企画力、専門性、技術力等のノウハウを活用し、合理的な工事の施工が可能となる設計、施工一括】

【発注方式を採用することとし、公募型プロポーザルにより、工事請負候補者を選定することとした。】

介護老人保健施設男鹿の郷の開設計可取消しについて

【市では男鹿の郷の立て直しを進めてきたが、どのような対応をしてきたのか。】

【施設利用者とその家族および職員との雇用場を守ることを前提に、県と事業所等との調整を図るなどの対応を行ってきたものである。】

【市内にも介護老人保健施設があるが、正和会に譲渡するに至った経緯は、】

【社会福祉法人富永会から譲渡について相談を受け、県とも協議してきたが、県民部において適切に常勤医師や看護師などの医療職員の配置ができ、さらに施設を再生させることができる法人として、医療法人正和会を紹介したものである。】

【市長がこの件について、なぜ関与することになったのか。経営陣への市長室でのやり取りは、理事長、施設長に対し、監査で確認された法令違反事項への対応、返還金などについて助言指導、不正請求の責任の取り方として、経営陣の一新と事務局体制の強化を促したものである。】



安田健次郎 議員

小・中学校の統合について

【小・中学校再編整備計画では、小学校は2校、中学校は1校の予定で統合を進めるとあるが、統合ありきではなくさらなる市民合意が重要と考える。通学時間や地域の在り方をどう考えているのか。また、市独自の小規模校の検討はできないか。】

【市政懇談会等を経て昨年成案も片道1時間以内で可能であり、現在の各地域での活動が継続されていくよう推進する。小規模校については本市独自の加配教員の配置による複式学級の解消は考えていない。】

夕陽温泉WAO・温浴ランドの廃止について

【今後、民間譲渡が廃止の方向で検討するところだが、福祉サービス目的で建設されたものであり、採算面のみで廃止との理由は納得できない。今後の進め方についてどう対応するのか。】

【両施設の指定管理料は年間約5千100万円。さらに施設の老朽化により多額の維持管理費の発生が予想され、厳しい経営状況である。今後の施設の在り方について具体策等を検討し、市民と意見交換しながら進める。】

五里合と入道崎の診療所について

【10年後を見据えて廃止とあるが、利用者が少なくても地域の大切な施設である。存続することも検討すべきではないか。】

【今後の利用者数の推移や、施設・設備の維持状況を勘案し、地域住民の意見を伺いながら、診療所の在り方を検討する。】

保育所(園)の統合について

【船越地区に榑伊徳が進出し、隣接地に保育園を統合設置するところだが、五ノ池保育園区域の通園が困難と考える。今後の関係者への説明などはどう対応するのか。ほかによい場所はなかったのか。また、榑伊徳との協議はどこまで具体化しているのか。】

【通園時間等諸課題については意見交換を重ねる面意形成を図る。用地は、十分な面積を確保できる土地がほかに見当たらなかった。榑伊徳とは必要な土地面積を確定させた後、土地の購入等について具体的な協議を進める。】



船木 正博 議員

ジョイフル跡地問題の総括として

【土地所有者である榑伊徳が、令和4年6月オープンを目指しスーパを核としたショッピングモールを計画中だと同っている。伊徳の出店概要を議会に報告できるのはいつ頃か。】

【出店については、今年の秋頃までには新設の届出が市へ提出されるものと想定しており、届出が提出され次第、手続を遅滞なく進めるとともに、出店の概要について速やかに議会へ報告する。】

【スーパ隣接地への保育園新設について伊徳側と協議をしているというのだが、新設保育園の形態と今後の計画、進め方は、】

【新施設は保育所と幼稚園機能併せ持つ保育所型認定子ども園を検討している。】

【今後の計画については、本定例会において、新施設の基本設計費の予算を提案し、今後必要な土地面積を確定させた後、伊徳側と土地の購入等についての具体的な協議を進め、令和6年4月の開園を】

【目指していく。】

【これまで公民連携事業の推進や、各種提案をしてきたが、市の公民連携事業についての方針と、図書館、子育て支援施設、コミュニティセンターなどの公共施設、他を行政で参画して併設する考えはあるか。】

【出店計画は、榑伊徳が主導し進めることから、今後、市が公民連携による開発施設として参画する予定はないが、行政サービスの利便性向上を図るため、出店される店舗内への諸証明発行事務を行う市民サービス窓口の設置や、敷地内への市単独運行バスの乗入れ等を検討しており、榑伊徳との協議を進めているところである。】

【今後の都市計画における公共施設の整備方針は、】

【今後は、「男鹿市公共施設等総合管理計画」の第1期個別施設計画に基づき建替えや長寿帯化の改修を実施するが、移転による建替えの場合は、他の公共施設との利便性や集約を考慮しながら公共施設を整備するものである。】

【その他の質問】

●市長の政治姿勢について

●健康寿命に対する取組状況は



佐々木克広 議員

【コロナ対策・産業振興】
フィンバブル技術について

質 市内教育研究機関におけるコ
ロナ不活化、ナノバブル等の
技術に関する方針について伺う。

答 同技術は、ウイルス不活化を
含む様々な産業分野への応用
が進んでいることから、これら機
関の研究開発状況を注視する。

質 植物活性性化、魚介類の成長を
三倍近く促進する等、関連企
業や研究機関の誘致について伺う。

答 今後は革新技術の情報収集を
進めながら、本市産業への導
入の可能性などを研究する。

【総合管理計画】学校統合による防
災拠点・再生可能エネルギー拠点
などの複合施設学校について

質 地域学校としての在り方と方
向性および計画について伺う。
答 統合後は地域をより広域に考
え、広く男鹿の子供と捉えつ
つ、地域の良さを継承する。また、
防災拠点としての学校の在り方を
関係課と協議し、検討する。



進藤 優子 議員

災害対策について

質 1月の暴風雪による建物、農
作物や農業施設等の被害額と
支援策について伺う。

答 被害総額は約3千369万円。
市の災害罹災者に対する見舞
金の支給制度は、建物に係る支給
対象を住家の全壊や半壊、床上浸
水被害としているため、このたび
の災害での適用はない。県の「住
宅リフォーム推進事業」で自然災
害により被災した住宅の復旧工事
への補助制度を設けているため罹
災証明書の発行を行っている。農
業用施設被害の支援策は早期の復
旧に向けた予算を本定例会に追加
提案する準備を進めている。

質 停電の長期化や大規模停電に
備えた取組状況は。

答 住民への正確な情報伝達、自
主防災組織等との連携・連絡
体制の強化、一時的な避難場所と
して町内会館の開放や市で備蓄し
ているストーブの貸出等の支援を
行い、住民生活の安全確保に努め
る。

質 新学校建設に関わる補助制度
活用について伺う。

答 新学校建設に関わる財源は、
学校施設環境改善交付金、公
立学校施設整備費負担金および起
債であるが、学校に付加する機能
により、補助金の充当が可能か考
え、有効な財源活用を努める。

質 統合校へ向けての学校運営効
果および通学道路整備など調
査・検証について伺う。

答 統合校後は多様な集団活動や様
々な意見の考察で、より深く
学べ、競い、成長できる。通学路
は1時間以内で通学可能である。

【少子化対策・産業振興】八郎湯
地区国営土地改良事業について

質 関係人口増等メリットの活用、
観光誘客等について伺う。

答 状況を注視する。

質 道路混雑、環境悪化等デメリ
ットへの対応について伺う。

答 今後、情報の収集に努め、状
況に応じた要望をする。

質 市内の橋・道路の補強や拡幅
等建設の予定について伺う。

答 現在、道路、橋梁の改良や建
設の予定はない。

【その他の質問】
●「産業振興」船川港開発に伴う
新たな港湾計画作成について

質 要配慮者への支援として、介
護タクシー事業者のような民
間活力の利用が必要ではないか。

答 要配慮者が自主避難するうえ
で、介護タクシー等民間活力の
利用は有効的な移動手段と考え
られるため調査、研究していく。

●新型コロナウイルス感染症ワ
クチンの接種について

質 ワクチン接種推進室の体制に
ついて伺う。

答 健康子育て課内に5名体制で
設置し、医師会との連携やク
ーポン券の発送、接種場所や人員
確保等、接種に向けた準備を進め
ている。状況を見ながら全庁を進
めて万全な体制をとっていく。

質 65歳以上の高齢者、基礎疾患
のある人、高齢者施設従業者
等の予定接種者数と接種会場は。

答 65歳以上の高齢者は約1万2
千800人、基礎疾患は約1万2
千人は市では把握できない。高
齢者施設従業者等の予定接種者数は
介護サービス課を通じて把握に努
めている。集団接種会場は男鹿市
民文化会館、個別接種は市内の実
施医療機関を予定している。

質 予診票、クーポン券の発送時
期は。

答 65歳以上は3月下旬、65歳未
満は4月以降を予定している。



佐藤 誠 議員

男鹿の郷（富永会）について

質 県は3月に今後5年間の事業
認可を出した。6月の特別監
査で、医師の勤務時間不足により
介護報酬の不正受給が判明した。
県から監査の結果や指導勧告の文
書も来ないまま、なぜ市が対応し
てきたのか。市として富永会から譲
渡先探しを依頼されたのであれば、
まず市内の事業者への打診や、公
募が必要だったのではないかと。

答 男鹿の郷は本市にとって重要
な施設である。利用者や家族
職員の雇用を守る必要がある、県
と連携して対応してきた。譲渡先
探しは市長が男鹿の郷側から頼ま
れたが、公募は本来事業者が行う
べきことである。

質 富永会の定款では譲渡は総会
での議決が必要だが、譲渡先
が11月まで知らされなかったため
議題にも上がらなかった。県は10
月下旬に処分を予定していたが、
9月29日にはまだ改善計画の再
請をすることにした。9月30
日、「返還金を支払える」旨が

ついた」という富永会の報告に対
し、市長は「今頃言われても困る
」と怒ったと聞くが、なぜ「良かった」と思わなかったのか。

答 総会の議決が目的ではなく、
理事、評議員が目の前で話し
たのである。また、「大変なことを
やっておきながら、今更何だと」
そういう気持ちで言ったのである。

●学校再編と地域づくりについて

質 将来的な地域づくりの考え方
はどうか。また小中学校の再
編計画に変更の考えはあるか。

答 今後も市の総人口は減少しつ
つ、地区別では男鹿東中学校
区の割合が増加していくと推測さ
れる。合併時策定の新市建設計画
に沿って、児童生徒数が減少して
も地域をより広域に考え、地域の
良さを継承し、地域活動継続を推
進していく。

●新型コロナウイルスについて

質 ワクチンのメーカーと接種体
制はどうなるか。また、スマ
ーズな接種のために事前アンケー
トなどは行われるのか。

答 ファイザー社のワクチンを想
定し、文化会館で市が行う集
団接種と医療機関が行う個別接種
の併用を予定している。アンケー
トの実施は予定していないが、相
談ダイヤルを設置する。

陳情

●最低賃金の改善と中小企業支
策の拡充を求める陳情

意見書

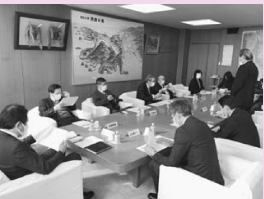
●最低賃金の改善と中小企業支
策の拡充を求める陳情

市議会の意見として、政府関係
機関へ送付しました。

観光協会と意見交換

― 議会議員クラブ ―

2月18日、議員クラブは男鹿
市観光協会武内会長および役員
の皆様と、男鹿観光の現状と今
後の課題について意見交換会を
開催しました。



タブレット操作研修会

オンライン会議環境の整備や
会議のペーパーレス化、情報の
共有化を実現するためタブレッ
ト端末を導入しました。2月22
日、タブレット端末および会議
システムの操作研修会を行いま
した。



予算特別委員会

全議員で構成する予算特別委員会で付託された各会計の令和2年度補正予算等および令和3年度予算案について審査し、いずれも原案のとおり、可決すべきものと決しました。委員会で質疑のあった中から主なものを取り上げ、その要旨を掲載しました。

介護保険について

介護保険料引下げの考えは、

介護保険制度では、介護サービスに提供する費用については、公費と被保険者が納付する保険料がそれぞれ半分ずつを負担することになっている。

65歳以上の第1号被保険者の負担は、全体の23%を占めており、この部分の負担を市が単独で引下げることが非常に難しいと考えている。

引き続き、介護要認定者数の抑制の努めとともに介護予防活動の支援を行うべく、

介護給付費返還金の概要について伺う。
男鹿の郷による介護報酬不正受給に係る返還金で、返還金が1億7千562万4千616円、加算金が7千24万9千846円、合計2億4千587万4千462円である。

返還金が納入された後の処理について伺う。

納入後は国に実績報告を行い、国、県、市、被保険者に対し、それぞれの負担割合に応じ返還する。

人口減少対策について

市町村合併後、約1万人の人口が減少した。その検証は、

県内13市の中でも、本市における自然動態、社会動態の減少率は大きい。

働く場がなく、若者が市外へ流出しており、若者が結婚率の低下にもつながっており、自然動態の出生率にも影響していると捉えている。

具体的な取組は、
自然動態に歯止めをかけるのは難しいが、結婚支援策について拡充を考えている。引き続き、出会いサポート

事業を進めるほか、一定の所得基準を満たした場合、新生活を始めるための家賃や引越費用など、上限30万円を助成する結婚新生活支援事業を令和3年度から始める。さらに出会いイベントの開催や婚活者ブラッシュアップ講座などの取組を積極的に行っていく。

また、社会動態を考えたとき、企業誘致にも力をいれていきたいと考えている。洋上風力発電事業では船川港を活用した誘致の動き、伊徳の船越への出店など、それらに対して大きな期待を寄せている。

小・中学校建築時の財源の確保について

学校等の施設建設予定における財源の見通しは、

男鹿市立小・中学校再編整備計画では令和7年4月に船越小学校を新築する予定である。建築の際の財源については、学校施設環境改善交付金など国の有利な補助事業を活用する予定である。

また、今後存続していく学校についてはクラウンドや武道館、太陽光発電など学校の付加機能を整備する交付金を

市民税申告相談について

活用し、地域に愛される学校整備を進めていく。
市民の皆様に経済的負担をおかけすることになったが、減量化へのご理解と取組についてご協力いただいた効果があると感じている。

令和2年度はコロナ対策のため、各会場に上限人数を設定したことで、市民の皆様にはご不便をおかけした。コロナ禍の影響により、全国的にも自署申告を進めており、国税庁ではe-taxを活用した申告を推奨している。本市としても自署申告を進めていきたいと考えている。

家庭系ごみ有料化について

有料化実施後の減量化の実績は、

令和2年11月の実績では、前年比91.4%で587.4%（一人一日当たりの排出量）、12月は前年比83.3%で560.4%、令和3年1月が前年比82.2%で453.3%であり、概ね10%以上の減量が図られている。

病院経営改善支援事業の效果は

今年度はコロナの影響により、外来患者に関しては年間約8千人の減、約1億円の減収が見込んでいた。3月末までの見込みでは1億円の減収を解消できると考えている。

病院経営改善支援事業の效果は

負担金の割合については、構成市町村による平等割が100分の20、人口割が100分の40、実績割が100分の40である。令和3年度の負担金は前年比125万6千円減の3億908万8千円となっている。

委員会・分科会の動き

各常任委員会・分科会は、付託議案等と所管の予算案を審査しました。

質疑のあった主な事項は、次のとおりです。

総務

家庭系一般廃棄物処理手数料収入について

歳入減額の経緯は、

ごみ袋について、年度内に全てのごみ袋取扱店に対し販売する分として製造し、年度内に売り切り、全て手数料収入とする予定であったが、想定販売数が大幅に減ったことによるものである。

今後の予算計上は、
手数料収入は、ごみ袋を製造する金額によらず、実績から十分に検証した想定販売数を的確に把握し予算措置する。

家庭系ごみ有料化に係る昨年来から混乱を招いた事態については、市民負担を伴っていることを念頭に、適切かつ円滑な予算執行を望む。

庁舎大規模改修について

改修の概要は、

老朽化した庁舎の改修を行い、長寿命化および維持管理費の節減を図る。令和3年度は空調設備工事を行う。総額3億6千400万円の工事請負費を計上しており、財源は市債3億4千580万円、一般財源1千820万円としている。

男鹿市地域防災計画について

人的被害を未然に防ぐ取組は、

土砂災害等の発生が予想される場合、気象台から随時情報を得ながら、特に夜間の災害が想定される際には、日中の避難行動ができる時間帯に避難所を開設する等、速やかに対応している。

避難行動要支援者名簿の効果的活用は、

要支援者の存在を把握していても、支援実践のためには周囲の協力が不可欠であることから、地域の現状を把握しながら、多くの人が避難できる体制づくりを構築し、共助の意識を働き掛ける。

教育厚生

男鹿みなと市民病院事業会計当初予算について

一般会計繰入金が令和2年度補正予算と比較し、2千452万円減額した要因は、

新型コロナウイルス感染症の影響で外来患者数の落ち込みによる減収は大きいものの、年度後半から経営改善計画の取組効果による収益の増収が見られ、次年度以降も取組効果が期待できると見込んでものである。

収益の増収につながった具体的な取組は、

令和2年度から医療事務に精通した職員を採用し、業務に精通した職員に取り組み、診療報酬の適正化に取り組む、また、患者層に見合った病棟再編の取組として、9月から地域包括ケア病棟を8床から24床に増床したことも効果として表れている。さらにも当初の予定よりも早く、今年1月から地域包括ケアの病棟化を行う取組をした。

令和4年度以降の成人式について

平成30年6月成立の民

産業建設

上下水道事業会計について

老朽管更新事業について、計画延長の経緯および進捗率は、

本事業は水道水の安定供給を目的に、老朽管路の計画的な更新を行い、併せて耐震管率と有収率の向上を図るものであり、補助率3分の1の国からの補助金を活用し、平成24年から令和3年までの10か年の継続事業として計画していたものである。

しかし、平成27年度から29

若美中央公園球場について

バックネット改修事業について、財源であるスポーツ振興くじ助成金の申請が不採択となった場合の対応は、

バックネットの支柱が腐食し、強風等により倒壊の恐れがあり、今年度はバックネット裏への立ち入りを禁止して利用の妨げをきたりから、当該施設の改修を行うものである。

事業費は約3千万円で、スポーツ振興くじ助成金を1千927万2千円充当する予定であるが、仮に不採択となった場合は、事業の見直しを含め、大幅な事業の見直しを検討しなければならないと考えている。事業を来年度以降に見送る判断をした場合は、その間から利用にはご不便をおかけすることにはなるが、事業費を全て一般財源で賄うことは厳しい財政状況であることからご理解を願いたい。

定例会最終日に議員定数を削減する条例改正案（議案第32号）が提出されました。提案理由および討論の内容をお知らせします。

議会議案第32号の提案理由
三浦 利通 議員

議員定数を現行の18人から16人に改める条例改正案の提案理由を述べます。議会は民意の反映と行政のチエック機能という、この基本的な機能が十分に発揮できる審議機関であることを前提に、本市における人口減少の状況に鑑み、時代変化と地域社会の環境変化に対応すべく、現行の議員定数を見直す必要があると考えます。

議会議案第32号に対する反対討論 佐藤巳次郎 議員

市民の方々から定数を削減してほしいという声はほとんど聞こえてきませんが、はたして現在の定数や報酬が市民の考えと合致しているのでしょうか。定数と報酬の在り方については市民と協議する機能をつくりながら、市民の声を十分くみ上げる必要があるのではないか。よって本議案案については反対します。

議会議案第32号に対する賛成討論 米谷 勝 議員

本市の人口は合併時から約1万人減少し、更に加速している状況にあり、これまで以上の危機感を持っています。人口減少対策等の施策を講ずることは最重要課題であります。

また、議員一人当たりの年間費用は約680万円、2人削減で約1千360万円の財源が捻出されることとなり、この財源捻出により市民サービスの充実に供されます。

以上のことから議員定数を2人減とする条例改正案を提案します。

本市の人口減少は非常に厳しい状況であり、人口減少を抑制する施策を講ずることは最重要課題である。議員自らが与えられた役割を効率的に果たし、民意の反映に努め、また、人口減少や財政状況に鑑みて、自ら行財政改革の範を示し、時代背景に沿った議員定数削減を実施することは極めて重要と考えます。以上の理由から議案第32号に賛成します。

議会議案第32号 男鹿市議会議員定数条例の一部を改正する条例について

表 決 状 況 (令和3年3月定例会)	(○：賛成 ×：反対 欠：欠席 議：議長)															議 決 結 果			
	政 和 会					市 民 ク ラ ブ					明 政 会		日 共 産 党	本 党	公 明 党				
	三 浦	笹 川	船 橋	伊 藤	中 田	佐 々 木	小 松	米 谷	船 木	畠 山	鈴 木	吉 田	佐 藤	古 仲	中 田	佐 藤	安 田	公 明	
	利 通	圭 光	金 弘	宗 就	謙 三	木 克 広	穂 積	勝	正 博	富 勝	元 章	清 孝	誠	清 尚	敏 彦	巳 次 郎	健 次 郎	進 藤	
議 会 案 第 32 号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	議	○	○	○	×	×	○	議 決

※吉田清孝議長は採決に加わりません。
※採決で賛否が分かれた案件を掲載しています。他の案件については、全会一致で可決されました。

6月定例会日程 (予定)

月	日	曜 日	会 議 名	主 な 内 容
6	8	火	本 会 議	市長提出議案上程 (提案理由の説明)
	10	木		一般質問
	11	金		一般質問
	14	月		一般質問
	15	火		議案質疑、常任委員会付託、予算特別委員会付託
	16	水	予算特別委員会	付託議案の審査・分科会設置
6	17	木	常任委員会・分科会	付託議案等の審査
	18	金		(総務委員会・教育厚生委員会・産業建設委員会)
6	24	木	予算特別委員会	各分科会委員長報告、質疑、討論、表決
			議会運営委員会	最終日の運営について
			本 会 議	各委員長報告 (総務・教育厚生・産業建設・予算特別)、質疑、討論、表決

編集後記

▼新型コロナウイルスに翻弄された1年が過ぎ、新年度がスタートしました。春になり、色とりどりの花が咲き、勇気や希望、優しい気持ちを与えてくれます。様々な困難は続きますが、冬は必ず春となる”と信じて、難局を乗り越えていきましょう。
(進藤優子)

み、安心と希望を届けられることを期待するものです。▼2年ぶりの開催となった春の選抜高校野球大会の選手宣誓や熱戦に感動！当たり前だと思っ日常は、誰かの努力や協力で成り立っている。その当たり前のことがどれほどありがたかったからこそ見えてきたものを大切に、新たな未来を開く力ギとしていきたい。
(進藤優子)